

Information

東京加害者臨床研究会 第 27 回例会 (現地開催)

日時▶5月15日(日)14:00~17:00
会場▶東京ボランティア・市民活動センター (東京都新宿区) 予定
内容▶加害者の「偽りの洞察」を発見し、上手に対応する
講師▶草柳和之 (大東文化大学)
参加費▶[継続参加] 予約 3000 円 (当日 3500 円), [初回参加] 予約 2000 円 (当日 2500 円)
問い合わせ・予約申込先▶事務局
〒176-8799 練馬郵便局留 メンタルサービスセンター内
☎ 03-3993-6147/070-5016-1871
<http://www.5e.biglobe.ne.jp/~m-s-c/>

第 22 回日本運動器看護学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶[事前オンデマンド配信] 6月1日(水)~12日(日), [ライブ配信] 6月12日(日), [事後オンデマンド配信] 6月20日(月)~7月1日(金)
テーマ▶未来をみすえて持ち場で動こう！
—運動器看護の醸成
プログラム▶会長講演「未来をみすえて持ち場で動く！」田淵かおり (聖隷横浜病院) / 基調講演「病院の未来・運動器看護の未来」内田明子 (聖隷佐倉市民病院) / 教育講演「人間の『動く』を考える」緒方徹 (東京大学医学部附属病院)
参加費▶会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 5000 円
参加登録期間▶6月2日(木)24:00 まで
参加登録方法▶下記 URL の「参加登録」ボタンより
<http://jsmn2022.umin.jp/registration/index.html>
問い合わせ先▶運営事務局
〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内
☎ 06-6131-6605
FAX 06-6441-2055

✉ jsmn2022@a-youme.jp
<http://jsmn2022.umin.jp/index.html>

第 35 回日本老年 泌尿器科学会 (現地開催)

日程▶6月10日(金)~11日(土)
会場▶山梨県立県民文化ホール (山梨県甲府市)
テーマ▶多職種チームで支える健康寿命
問い合わせ先▶運営事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-5 石渡ビル 6 階 プランニングウィル内
☎ 03-6801-8084
FAX 03-6801-8094
✉ jsgu35@pw-co.jp

日本老年看護学会第 27 回 学術集会 (現地開催)

日程▶6月25日(土)~26日(日)
会場▶石川県立音楽堂, もてなしドーム地下広場 (石川県金沢市)
テーマ▶人生 100 年時代, ケアをデザインする— with コロナ時代の老年看護を問う
プログラム▶
[6月25日] 会長講演「人生 100 年時代, ケアをデザインする」川島和代 (石川県立看護大学) / 特別講演①『自分らしい』死とは何か? 上野千鶴子 (ウィメンズアクションネットワーク) / 教育講演①「ユーザー視点でのデザイン創造」永井由佳里 (北陸先端科学技術大学院大学) / ②「エンドオブライフケアをデザインするために— 死生観と ACP」浅見洋 (石川県立看護大学) / 対談「問いを育む『人生 100 年時代の看護』」森垣こずえ (金沢医科大学病院), 直井千津子 (金沢医科大学), 天津栄子 (石川県立看護大学) / シンポジウム①「高齢患者の尊厳と安全を守るケアのデザイン—急性期病院における身体拘束ゼロへの挑戦」加藤真由美 (金沢大学), 小池京子 (大誠会内田病院), 佐藤晶子 (聖隷三方原病院), 小藤幹恵 (石川県看護協会) / 教育セミナー①「老年看護における事例検討—事例検討からエッセンスをとりだす

(仮)」川島和代 (石川県立看護大学), 事例検討者 (調整中) / グッドプラクティスセミナー①「急性期病院における認知症看護はどう変わったか—日本老年看護学会の立場表明 2016 から考える」西村知子 (久留米大学病院), 立原怜 (島根県立中央病院), 熊倉季穂 (江別市立病院) / ②「人生の最終段階を支える EOL ケアのデザイン」会田薫子 (東京大学大学院), 向出美穂 (小松市民病院), 高道香織 (医王病院)
[6月26日] 特別講演②「人生 100 年時代, ケアイノベーション (仮)」真田弘美 (東京大学大学院) / 市民公開講座「いのちの停車場と終末期医療」南杏子 (医師) / シンポジウム②「コロナ禍における慢性—末期心不全高齢者へのケアのデザイン」眞茅みゆき (北里大学), 長谷川美智子 (京都府民連中央病院), 木間美津子 (心臓血管センター金沢循環器病院) / ③「共生型社会における高齢者ケアデザイン (仮)」惣万佳代子 (このゆびとーまれ), 清水愛美 (佛子園シェア金沢), 井階友貴 (福井大学) / ④「介護保険施設における COVID-19 対応から考える『新しいケア様式』」相場健一 (介護老人保健施設アルボース), 石原昌代 (特別養護老人ホーム津田荘), 元女貴久乃 (ニッ屋病院) / 教育セミナー②「高齢者がより良く眠るための睡眠ケアをデザインする」尾崎章子 (東北大学大学院) / ③「エコーを用いた高齢者の便秘アセスメント」松本勝 (石川県立看護大学) / 研究論文賞受賞者講演 渡辺陽子 (県立広島大学), 牧野公美子 (浜松医科大学医学部附属病院) / ほか

問い合わせ先▶事務局
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1 オザワビル 2 階 ワールドプランニング内
☎ 03-5206-7431
FAX 03-5206-7757
✉ office@rounenkango.com (平日 10:00~12:00/13:00~17:00)
<http://www.rounenkango.com/>

日本看護学教育学会 第 32 回学術集会 (Web 開催)

日程▶8月6日(土)~7日(日), [オンデ

マンド配信] 9月11日(日)まで(予定)
テーマ▶今こそ原点回帰, 未来へ紡ぐ看護学教育の知の創造

プログラム▶会長講演「今こそ原点回帰, 未来へ紡ぐ看護学教育の知の創造」前川幸子(甲南女子大学)／特別講演①『『ふれる』と『知る』の教育哲学』生田久美子(田園調布学園大学)／②「看護学教育とケアリング」筒井真優美(日本赤十字看護大学)／教育講演①「看護学教育学会の歩みとこれからの看護学教育」大島弓子(日本看護学教育学会)／②「看護教育における省察的実践者を育てる」柳澤昌一(福井大学)／講演「看護学教育研究の可能性を拓く」：1)「看護学教育と事例研究」黒江ゆり子(甲南女子大学), 2)「看護学教育とアクションリサーチ」井上典之(早稲田大学), 3)「看護学教育と量的研究」加藤憲司(神戸市看護大学)／ワークショップ「新たな看護学教育方法の可能性」：1)「看護的思考を促すLTD話し合い学習法」佐藤政枝(横浜市立大学), 2)「実践的に看護を教える『臨床判断』(理論と学内での教育における取り組み編)」奥裕美(聖路加国際大学)ほか, 3)「実践的に看護を教える『臨床判断』(臨地での教育における取り組み編)」三浦友理子(聖路加国際大学)ほか, 4)「学生が学びたくなる『シミュレーション教育』」内藤知佐子(愛媛大学医学部附属病院)／シンポジウム「COVID-19禍における教育の事象を読み解き見出すこれからの看護学教育」：1)「COVID-19禍における教育の事象を読み解き見出すこれからの看護学教育」西村ユミ(東京都立大学)ほか, 2)「COVID-19禍の経験からこれからの看護学教育を考える」山田かおる(東葛看護専門学校)／シンポジウム「看護基礎教育における感染症看護の現状と今後の展望」：「COVID-19禍における感染看護学教育」鍋谷佳子(大阪大学医学部附属病院)ほか／「どう育む？ これからの時代を生きる看護の教育者たち」：講演1)「看護継続教育と基礎教育を繋ぐ」ウィリアムソン彰子(神戸大学医学部附属病院), 講演2)「How we did the transformation to online during covid for the interprofessional simulation」Lorrie Wong (University of Hawaii), 講演3)「教師教育の視座から看

護教育者を考える：看護師養成教育を中心に」浅田匡(早稲田大学), シンポジウム「これからの時代を生きる看護の教育者」安酸史子(関西医科大学)ほか／教育セミナー①「どう教える？ 防災・減災教育」／②「どう取り組む？ カリキュラムマネジメント」／講演①文科省／②厚生労働省／理事会企画

問い合わせ先▶運営事務局

〒550-0001 大阪府大阪市西区土佐堀1-4-8 日栄ビル703A あゆみコーポレーション内

☎ 06-6131-6605

FAX 06-6441-2055

✉ jane32@a-youme.jp

<http://jane32.umin.jp/index.html>

*掲載している情報は3月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。